

レガシーアプリケーション引退、データの保持

Micro Focus® Structured Data ManagerによってレガシーのPeopleSoft Enterpriseを管理する運用コストとリスクの低減を実現

Micro Focusソリューションの主な差別化要因:

- + PeopleSoft用のすぐに使用できるアプリケーションアーカイブソリューション
- + 従業員の過去データに関する標準の定義済みレポート
- + カスタムレポートの追加が可能
- + コンプライアンスとレポート作成のための自由テキスト検索
- + テクノロジーの進化に対応できるオープン形式でデータを保存
- + Verity Information ArchivingおよびContent Managerとの統合によるポリシーベースの保持管理および廃棄

レガシーデータの不適切な管理のコストとリスク

人事管理システム (HRMS) を、PeopleSoft Enterpriseから、Workdayなどの最新のSaaSベースのプラットフォームに移行しようとしている組織の多くは、過去の従業員データ、給与データ、その他の手当に関連する情報を調べる必要が生じたときのために、PeopleSoftのレガシーインスタンスを保持することを強いられています。レガシーアプリケーションを残しておくことには、重大なコストとリスクが伴います。たとえば、レガシーのPeopleSoftやOracleデータベースインスタンスのライセンスコストと運用コスト、およびレガシー環境の保守に費やされるスキルのある人材のコストは、年間数十万ドルに及ぶこともあります。

こういったコストに加えて、非アクティブなシステムに保存された従業員データの不適切な管理に伴うさまざまなセキュリティリスクやプライバシーリスクも発生します。人事管理システムに保存されている従業員データに対しては、十分なセキュリティとコントロールが必要であり、監査、調査、訴訟の要求にも応えられなければなりません。しかし、アプリケーションが非アクティブになると、データの機密性とプライバシーの必要性は忘れられることが多いのです。アプリケーションのメンテナンスとデータ保護のコントロールが不適切な場合、このような機密情報のデータ損失のリスクや、訴訟の要求に応じられないリスクが増えます。

PeopleSoftインスタンスのアプリケーション引退の際に、コンプライアンスやレポート作成のための過去のデータへのシームレスなアクセスを維持することは可能でしょうか。これに応えるのが、[Structured Data Manager for PeopleSoft Enterprise](#)です。Micro Focusのアプリケーション

引退およびアーカイブソリューションを使えば、複数のPeopleSoftインスタンスのリタイアメントを行い、ティア2ストレージを備えたティア2サーバー上の1つのアーカイブリポジトリにデータを移行して保護することで、経常コストを全体で最大40%削減できます*。これにより、レポート作成やコンプライアンスのための、ポリシーベースの保持、異なるデータベースにまたがる検索、従業員、給与、手当関連の過去データへのシームレスなアクセスが可能になります。

Structured Data Manager – アプリケーション引退およびアーカイブプラットフォーム

Structured Data Managerは、PeopleSoft Enterprise環境をサポートする完備したアプリケーションデータベース用データ管理プラットフォームです。Structured Data Manager Designerには、ビジュアルモデリング環境が備わっており、テーブル関係を簡単に定義してカスタマイズしたり、データの適格性のためのビジネスルールを修正したりできます。

ランタイムは、データ移動エンジンとジョブ制御環境から構成され、LinuxおよびWindowsオペレーティング環境がサポートされます。サーバーランタイムには、ネイティブデータベース統合も用意されており、高いスケラビリティを備えているので、きわめてデータ量の多いPeopleSoft環境にも対応できます。Structured Data Managerには、データエージング戦略、保持ポリシー、長期的なコンプライアンス要件に

* 5年間で2件のPeopleSoftインスタンスのリタイアメントを対象とした社内コスト分析に基づきます。

応じて、データをデータベースからデータベースへ、データベースからファイルへ、あるいは両方に順次移動できるオプションと柔軟性が備わっています。

Structured Data Managerで提供されているアプリケーション引退オプションを使用すれば、PeopleSoftのインスタンス全体の完全なリタイアメントを行った後で、容易に作成できる標準の定義済みレポートまたはカスタムレポートを使用して、アーカイブデータのレポートを作成することができます。

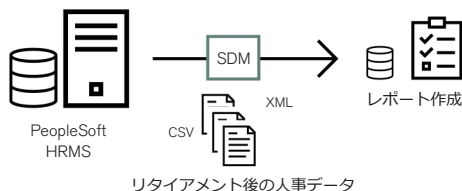


図1: Structured Data Managerによって標準の定義済みレポートまたはカスタムレポートを使用して、アーカイブデータに関するレポートを作成できます。

すぐに実行可能

Structured Data Manager for Oracle PeopleSoft Enterpriseには、すぐに実行できるデータベースアーカイブモジュールが付属しています。これは、PeopleSoftビジネスアプリケーションからデータを取り込む役割を果たします。主な機能は、以下のとおりです。

- PeopleSoftデータベースのデータをアーカイブする定義済みジョブ
- W2、従業員データ、従業員履歴などの通常のコンプライアンス調査のための定義済みレポート
- 特定のレポートを作成する前に従業員情報を簡単に見つけるための自由テキスト検索

ポリシーベースのコンプライアンスとガバナンス

Structured Data Managerには、コンプライアンス用データの保持のために、データ保持ポリシーの作成とアーカイブプロセス中のその適用のための柔軟で設定可能なインターフェイスが用意されています。アーカイブデータに対してクエリやレポート作成が可能なので、保持ポリシーも適用することができます。

Structured Data Managerは、Micro Focus Content ManagerおよびMicro Focus Verity Information Archiveとの統合により、機密の人事データに対する保持および廃棄スケジュールの管理を可能にしています。

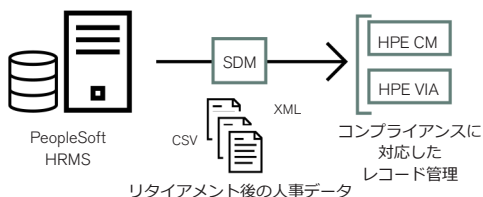


図2: Content ManagerおよびVerity Information Archivingとの統合により、ポリシーベースの保持管理と廃棄が可能で

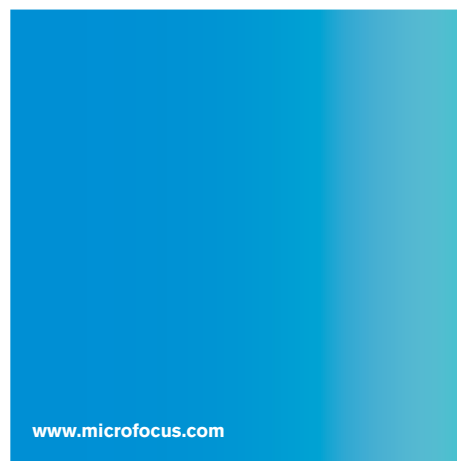
Micro Focusの特長

適切なデータ管理戦略なしにレガシーアプリケーションの移行を行うのは、コストがかかり、リスクも大きい作業です。レガシーアプリケーションのための適切なデータ管理戦略を使用すれば、長期的なコンプライアンス、管理の容易さ、アプリケーション引退に役立つとともに、インフラストラクチャーのコストを削減できます。レガシーアプリケーションの引退は、IT資産だけでなく、その実行、保守、使用に必要なだったスキルとナレッジのリタイアメントでもあります。

Structured Data Manager for PeopleSoft Enterpriseは、組織がプロアクティブなデータ管理戦略をシームレスに実現するために役立ちます。すぐに実行できるアプリケーションおよびデータベースアーカイブモジュールが豊富に用意されているため、人事データをベンダーに依存しないオープン形式で保存して、テクノロジーの進化に対応することができます。Micro Focus Structured Data Manager Query Moduleを使用すれば、人事データにいつでもアクセスできます。

詳細情報

software.microfocus.com/ja-jp/software/application-database-archiving



Micro Focus 英国本社

United Kingdom
+44 (0) 1635 565200

米国本社

Rockville, Maryland
+1 301 838 5000
+1 877 772 4450

www.microfocus.com

マイクロフォーカスエンタープライズ株式会社
jp-info-enterprise@microfocus.com

www.microfocus-enterprise.co.jp